

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		ムスリム旅行者の受入促進				所管	文化産業観光部 観光課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	46	計画事業名	おもてなしの人づくり		事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出				[事業開始] 平成27年度					
		[小 柱] (3)おもてなし環境の整備				[終了予定] - 年度					
		[施 策] ②ふれあいとおもてなしの人づくり									
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕		台東区ハラル認証取得助成金交付要綱						
	事業対象	直接の対象 : 区内飲食施設及び宿泊施設等 最終的な対象 : 国内外のムスリム旅行者									
	事業目的	世界人口の4分の1を占め、かつ、近年増加しているASEAN諸国からのムスリム旅行者の生活習慣に対応した受入環境整備及び受入促進を図る。									
事業内容 [29年度]	①ハラル認証取得助成 3件 ②ハラル対応施設等を紹介する観光マップの作成・配布 80,000部作成 (20,000部×年4回更新) ③ムスリムウェルカムFacebookの運営 (週1回更新) ④ムスリム受入啓発のための講習会の開催 4回開催 合計77名参加 ⑤ムスリム対応アドバイザーによる飲食、宿泊等事業者へのムスリム対応支援 年30カ所										
委託の有無	一部委託	委託内容		マップ作成委託、ムスリム対応アドバイザー委託、講習会講師							
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率				
	活動指標	ムスリム講習会実施回数	回	4	2	4	4	-	-		
		ムスリム対応アドバイザー派遣数	件	40	-	25	30	20	150.0%		
	成果指標	ムスリム講習会受講者数	人	120	56	75	77	-	-		
		ハラル認証取得助成件数(累計)	件	50	14	19	22	54	40.7%		
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				1,814		2,512		3,692	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				3,208		4,459		3,771	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				771		2,088		3,500	
		総経費				1,043		425		192	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				357		964		785		
	一般財源 (区負担額)				4,665		6,008		6,678		
前回評価から29年度に改善した事項	平成29年度からの新規事業として、ムスリムウェルカムFacebookを開設して即時性の高い観光情報や、区内のハラル認証取得飲食店を紹介し、ムスリム旅行者の誘致を促進した。(週1回更新)										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	4	本区への誘客及び観光消費促進のため、世界人口の4分の1を占め、かつ、近年増加しているASEAN諸国からのムスリム旅行者の受入環境整備を進める必要がある。								
	効率性	3	ハラル認証取得助成やマップ等の需要に応じて適切に事業費を設定している。また、ムスリム対応アドバイザーを活用し、効率的に区内飲食・宿泊施設等のムスリム対応の相談に対応している。								
	手段の適切性	3	講習会の開催によるムスリムへの理解促進や受入対応の「啓発」、ハラル「対応」に取り組んだ事業者への認証取得助成、マップや動画によるハラル対応施設等のムスリムへの「情報発信」と、各段階に応じた支援を行っているほか、アドバイザーの活用により、適切に事業を推進している。								
	目的達成度	2	ムスリム旅行者への対応の普及啓発は徐々にではあるが進んでいると考えられる。しかしながら、ハラル認証助成の申請数は減速しており、区内事業者がムスリム対応の必要性や対応のメリットを感じられるよう、情報発信や情報提供方法等を工夫しながら、引き続き受入対応を促進していく必要がある。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
ムスリムの多い東南アジアからの訪日旅行者は年々増加しており、この傾向は今後も続くと見込まれる。一方で、ハラル認証取得助成申請は2年連続で減速しており、ムスリム対応アドバイザーをさらに活用し、申請件数の減速理由や区内事業者のムスリム旅行者に対するニーズ等を精査する必要がある。そのうえで今後は、事業周知方法を改善し、助成件数の拡大や受入環境の充実に努めていく。						改善	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				